



近世人物誌

西郷隆盛

先よの維新の元勳たり後よの反賊の首將たり陸軍大將の服を着て官兵と鋒を接ふ半生の功業半生の罪惡共に非常にして古今未曾有たり古の奸雄謂へるごとあり曰く大丈夫芳を百世流すこと能はざれば須らく臭を千載に遺すべしと隆盛一身してこれと兼ねたり後の罪惡や憎むべし前の功業は没すべしとこれを要する不世出豪傑の稱は史家の此人ふ与ふるをたまざる所なるべし其の行事卓犖傳ふべきもの多し大率世を表著す故より載せし性甚く獵を好む軍中よ在るの日も往々犬を獲へて山野を跋渉し從容閑暇日を消せしといふ其の胸襟の瀟洒磊落以て概見すべし此圖の其の獵を赴くさまを畫きたるものなり

文字三味樓主人題す



壁園活

發行所 東京 京橋区 尾張町三丁目 番地 やまと新聞社 編輯人 奥陽 欣二 中泉 政太郎

